

## 東京 2020 パラリンピックを目指す“選手のいま”が集まる『#oen2020』プロジェクトを、「OEN-応援」サイトで始動！

日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、東京 2020 パラリンピック出場を目指す選手と私たちをつなぐ「OEN-応援」サイトを公開。サイト上で“選手のいま”が集まる『#oen2020』プロジェクトを開始しました。



東京 2020 パラリンピックまであと2年となり、マスメディアでもパラリンピックやパラスポーツの話題が徐々に増えている一方で、WEBメディアでは依然としてパラスポーツの記事は少ないという状況を踏まえ、「OEN-応援」サイトは、スマホを中心に情報収集する10代～30代へもパラリンピック、パラスポーツへの接点を広げていくことを目指しています。

日本がパラリンピックムーブメントを活かし、インクルーシブ社会へシフトするためにも、これまでパラリンピック、パラスポーツに接点がなかった方々に、東京 2020 パラリンピック出場を目指す選手や競技を知ってもらい、応援の力で選手や大会を盛り上げること、そしてみんなの応援がエネルギーとなって選手に伝わり、選手の驚異的なパフォーマンスを引き出すこと、その選手から発信される**勇気、強い意志、公平とインスピレーション**というパラリンピックの4つの価値が多くの方に伝わることを重要と考えています。

### ■「OEN-応援」サイトについて

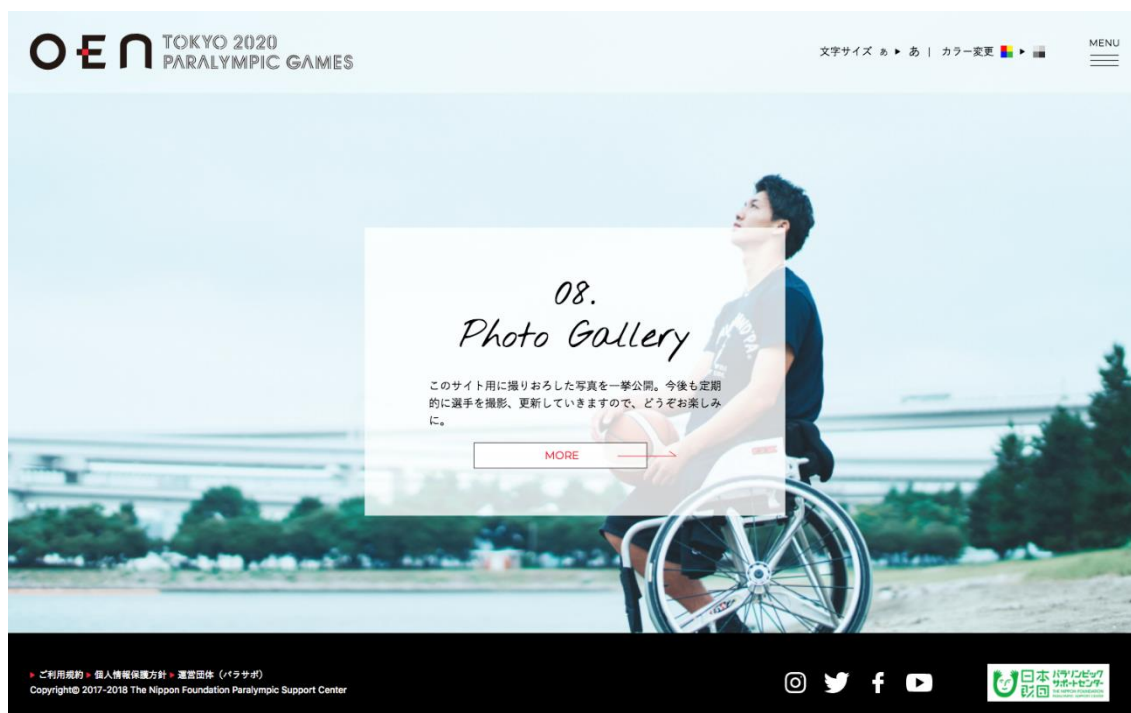
パラリンピックの起源や価値、東京 2020 パラリンピックの会場、競技、注目選手等を分かりやすく紹介。コラムでは、選手のインタビューをはじめ、その活躍を支える人にも注目し、東京 2020 パラリンピックに関連する情報を様々な角度で伝えていきます。また、動画も順次公開する予定で、インタビューやドキュメンタリー、競技紹介など、モーショングラフィックを取り入れたグラフィカルな映像で発信力を高め、SNSでの拡散も視野にコンテンツを展開していきます。

## ■『#oen2020』プロジェクト

競技団体にもご協力を頂き、まずは“選手のいま”を発信していくことで、選手や競技への興味・関心を喚起できるように、「OEN-応援」サイトで選手の『#oen2020』つき Instagram、Twitter 投稿を集めるプロジェクトを始動しました。2020 年に向けて選手のトレーニングや遠征先の様子、日々の出来事、想いなど、様々な競技の“選手のいま”が集まることで、東京 2020 パラリンピックが盛り上がるきっかけになることを期待しています。

## ■Photo プロジェクト

「OEN-応援」サイトでは、選手や競技をより身近に感じてもらえるように、2020 年の東京パラリンピックに向けて、**Photo プロジェクト**もスタート。「選手に寄り添い、選手と共に歩む」というテーマで、選手の自然体、ふとした瞬間を撮りおろす企画を継続していきます。これまで、ブラインドマラソン(T12 クラス)の世界記録保持者であり、リオ 2016 パラリンピック・女子マラソン(T11-12 クラス)銀メダリスト・道下美里選手、リオ 2016 パラリンピック・陸上 400m(T47 クラス)銅メダリスト・重本沙絵選手、車いすバスケットボールの U-23 日本代表で東京 2020 パラリンピック出場を目指す高松義伸選手を撮影。今後も東京 2020 パラリンピックを目指す選手たちを撮影し、サイト上で定期的に発表していきます。



## ■東京 2020 パラリンピック・「OEN-応援」サイト

<https://www.parasapo.tokyo/paralympic2020/>

## ■WEB マガジンもリニューアル

<https://www.parasapo.tokyo/>

パラリンピック、パラスポーツの総合サイト。最新ニュースから競技・選手の紹介はじめ大会・イベントの日程、コラムや動画を配信。この 8 月に UI・UX を向上するリニューアルを行い、今後はコンテンツ力の強化と、キュレーションメディアへのコンテンツ展開を計画しております。

※WEB マガジン、SNS、動画、メルマガをあわせた月間総リーチ数は平均 800 万人(2018 年 1 月～8 月)を突破。

・Facebook | <https://www.facebook.com/parasapo/>

・Twitter | <https://twitter.com/parasapo>

・Instagram | <https://www.instagram.com/parasapo/>

## ■パラサポについて

日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)は、2015 年 5 月、日本財団の支援により設立されました。東京 2020 パラリンピック競技大会およびパラリンピックスポーツ環境の発展のため、パラリンピック競技団体の体制整備、パラリンピックスポーツの普及啓発事業、そして、インクルーシブ社会の実現へ向けた事業を展開しています。日本財団ビル 4 階(東京都港区赤坂)には、パラリンピック競技団体(現在 28 団体)、関係団体が入居・利用する共同オフィスを設け、団体・競技間のコミュニケーションを促進する垣根のない開かれた場とユニバーサルデザインを徹底した空間を、競技団体、関連団体、スタッフ、パラアスリートと共有しています。パラアスリートとのコミュニケーションから生まれたパラサポのキーメッセージ「i enjoy! ～楽しむ人は強い～」をテーマに、様々な活動を行っています。

<https://www.parasapo.tokyo/parasapo>